

能田電気工業株式会社



代表取締役
能田 舜二

東京都
荒川区南千住5-25-9

1962年(昭和37年)設立
03-3806-1161

<http://www.no-da.co.jp>

電照式看板・プリズムで
明るく、蛍光灯の本数を
半減

プリズム効果、光源を100%有効活用した照明装置を開発。蛍光灯の本数を半減し、全ての電照式(内照式)看板の省エネルギー化を図り、地球温暖化防止に貢献。

本業から得た新製品へのヒント

同社は某私鉄駅ビルの看板照明交換工事をした際、看板内の既存反射板に和紙を使用しているものや内面にペンキ塗装をして光ムラの解消や照度アップを図っているものがあることから、照明器具の発熱で火災の危険性や、メンテナンス等作業効率の悪さの解消の必要性を痛感し、新製品の開発に着手。

省エネ・省資源に寄与する『プリズムボードS』の開発

従来の内照式看板はランプの直上が明るすぎ、ランプ間が薄暗く光ムラがあった。その光ムラを解消する為ランプの本数を多くしたり、ネオン管やプラズマランプ・LEDを使用したりしているが、省エネ・環境負荷軽減・低コストとは両立が難しかった。

同社の「プリズムボードS」は、高品質の反射板(拡散反射率95%以上)と長尺の亚克力バー(断面二等辺三角形)の組み合わせで光源を100%有効活用し、プリズム効果(光の屈折機能)で光をバランス良く拡散し、蛍光灯ランプ間に生じる光ムラを解消し、看板の広告面を見易くかつ美しくしている。

様々な業界で活躍

同社の「プリズムボードS」は専門家でもなくても設置でき、メンテナンスも反射板を中性洗剤で洗うだけなど、容易で短時間で出来るため、顧客の時間短縮と人件費削減に貢献している。

また、ランプ使用本数の削減から産業廃棄物の減量や電気使用量の節減に貢献している。この他にも駅売店電飾看板やコンビニの置き看板など様々な分野で活躍中。



設置例(JR駅構内ショッピングセンター)